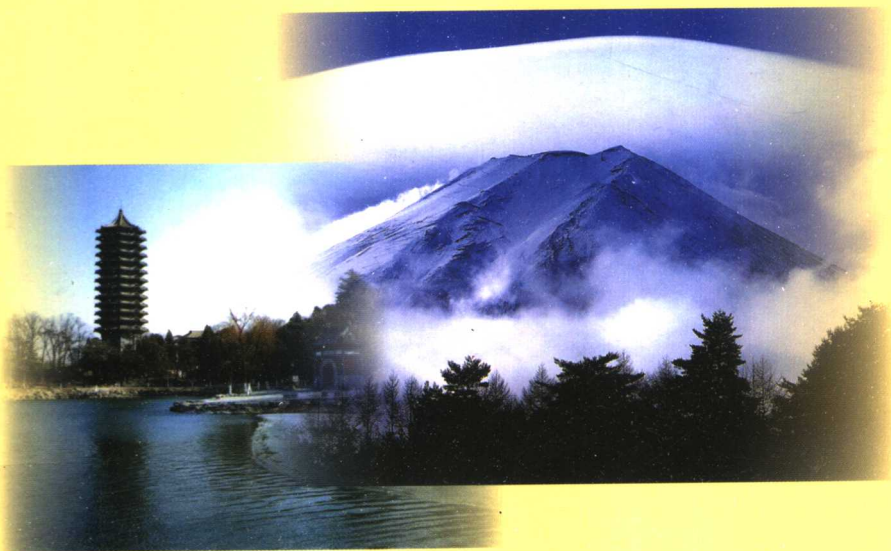


日本 语言文化研究

第五辑

北京大学日本文化研究所 编
北京大学日本语言文化系



學苑出版社

日本语言文化研究

(第5辑)

北京大学
创价大学 2003 年日本学国际研讨会专辑

本辑由 北京大学日本文化研究所·语言文化系
创价大学文学部“配慮表现”研究会 编

学苑出版社

图书在版编目(CIP)数据

日本语言文化研究(第5辑)/北京大学日本文化研究所、北京大学日本语言文化系编. - 北京:学苑出版社,2004.3

ISBN 7-80060-004-1

I. 日… II. 北… III. 文化语言学-研究-日本-文集
IV. H36-53

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2004)第 017598 号

学苑出版社出版发行

北京市丰台区南方庄2号院1号楼 100078

销售电话:010-67675512,67678944

<http://www.book001.com>

E-mail: xueyuan@public.bta.net.cn

北京白帆印务有限公司印刷

850×1168 32开本 15.25印张 350千字

2004年3月北京第1版 2004年3月北京第1次印刷

印数:1000册 定价:30.00元

前 言

北京大学日本语言文化系、日本文化研究所与日本创价大学文学系于2003年3月25、26日在北京大学联合举办了“2003年日语国际研讨会”。出席这次学术研讨会的正式代表有56人,除了上述举办这次研讨会的两所大学的学者以外,还有来自其他22所中日两国的大学、研究所的来宾、学者和研究生,共有百余人与会。

在研讨会上,有25名中日学者分别就“配慮表現”、日语语法、日语教学等领域的研究宣读了论文,并进行了热烈而深入的讨论和交流。这本《日本语言文化研究》就是以在这次研讨会上宣读的论文为主,另外加入部分其他学者的投稿编辑而成的。

本辑共收入了27篇论文,其中与“配慮表現”相关的论文有11篇;与日语语法相关的论文有9篇;与日语教学相关的论文有7篇。这些论文中既有不少中日学者反复考证和潜心研究的新成果,在一定程度上反映了目前日语语言学研究领域的前沿信息和水平,也有北京大学、南开大学、洛阳解放军外国语学院硕士生在学习、研究过程中的阶段性论文,这也正是我们所期待的学术研究不断深入、后浪不断推动前浪的良好局面的一个象征。我们热切地期盼着学界同仁们能够关注本辑所刊载的论文,期盼着能够通过积极的学术批评进一步活跃我们的学术氛围。

最后,谨向为这次研讨会的成功举办给予大力支持的同仁们

表示衷心的感谢!

北京大学外国语学院 彭广陆
日本语言文化系主任

2003年12月

祝 辞

このたび「2003 年日本語学シンポジウム」が北京大学と創価大学共同主催のもと、北京大学で賑々しく開催されたことは、中日平和友好条約締結 25 周年を記念するにふさわしい催しであったと嬉しく思っております。

当初は中日共同編纂による新しい日本語テキストの編集会議にかこつけての「内輪の討論会」といった試みが、主催両校以外の日本語研究・日本語教育に携わる中日両国 15 大学、1 出版機構代表の発表と、更に多くの傍聴校の方々の強い関心の下で盛大に幕開けを迎えることができましたことは、中日両国において日本語研究や日本語教育がますます重視され、盛んになっていることを如実に示すものと思います。

このたびのシンポジウムで発表された論文の多くは、ほとんどが日本語研究や日本語教育の現場から生まれたホットなものであったことは言を待ちませんが、特に「表現」（待遇・配慮・ばかし・比喩など）についての発表が目立ったことは、日本語研究や日本語教育が新しい段階に入ったことを物語るもので誠に喜ばしいことだと思います。日本語研究や日本語教育の中で「表現」が占めるシェアが位置づけられつつあることは、今後の日本語研究ならびに日本語教育に大きな示唆を与えるものと思います。

このようなシンポジウムができれば毎年開かれることが望ましいのですが、準備などの都合で難しいでしょうから、一年おきにあるいは中日交互に持ち回りで行われればよいと思います。そのためには、主催校ばかりでなく更に幅広い各関係機関、教育機関の支持が欠かせません。ここによろしく

支援をお願い次第です。

最後になりますが、このたびのシンポジウムの開催をご支援くださった関係機関、ならびに参加いただいた中日両国の教師、研究者の方々に心から感謝の意を表わします。

北京大学教授 孫宗光

2003 年 10 月

序 文

八王子の丘陵地帯に位置する我が創価大学では、毎年、春の到来とともに 2000 本の桜が爛漫と咲き薫り、東京郊外を代表する風物詩としても知られています。そして、その中でも一際多くの方々が信望の眼差しで見つめる「周桜」——それは偉大な周恩来総理が永眠される二か月前の 1975 年 11 月 2 日、本学が中国から迎えた初の留学生の手によって植樹されたのでした。

周恩来総理と本学の創立者池田大作先生との出会いは、多くの識者が「飲水思源」との言葉を挙げて、今日の日中友好の忘れ得ぬ原点であると証言しています。そしてそれは、我が創価大学と中国の数多くの大学との交流の原点でもあります。

北京大学と創価大学との交流協定が調印されたのは 1979 年 9 月 5 日。以来、多くの交換教員、交換留学生が相互に行き来し、両国の友好発展のために交流の実りをあげてまいりました。本年、尊敬する北京大学外国語学院の先生方と、私ども創価大学文学部の気鋭の研究者との共同作業により、3 月には北京大学、6 月には創価大学において、二度にわたるシンポジウムが成功裡に行われたことは誠に慶事であり、喜びに堪えません。

シンポジウムの主要テーマとなった「配慮表現」は、最近の言語学界で急速に注目されている未開拓の領域と伺っております。コミュニケーションの上で人間関係を良好に保つために人はさまざまな配慮をめぐらす、ということですが、この新しいテーマの開拓を通じて、両大学の学問の発展と更なる友好の深化がなされていくものと確信いたします。

そしてシンポジウムの成果を一冊の論集にまとめて発刊できますことは、ここでの研究成果を学界史に残す重要な作業であると拝し、深く敬意を表します。この論集においても、両大学による共編によって成ることを重ねて喜びたいと存じます。

最後にこの論集の編纂に多大なご尽力を賜った北京大学外国語学院助教授・趙華敏先生、6月のシンポジウムの成功にご協力を賜った同教授・彭広陸先生、同助教授・李奇楠先生をはじめ、北京大学の諸先生方に厚く御礼を申し上げます。

創価大学文学部長 石神 豊

2003年9月

目 录

祝辞	孫宗光(1)
序文	石神豊(3)

第一部 配慮表現

「つもり」から見た日本語の配慮表現	陳淑梅(3)
依頼・受益表現における授受動詞使用の 意識調査	関冰冰・山田花尾里(13)
「させていただく」と「お～する」 —受益者の観点から—	姫野伴子(32)
状況提示型の策動性モダリティ	牧原功(51)
日本語教科書における配慮表現の問題点	守屋三千代(64)
依頼に見られる配慮表現 —「でもいい」の場合—	小野正樹(78)
「Vてもらっては～」について	彭広陸(91)
会話における沈黙の意味についての一考察	史軍(117)
依頼表現の日中対照研究	山岡政紀・李奇楠(131)
ぼかし表現について	張文穎(161)
日本語の勧誘に対する応答について	章燕(169)
中日両言語の反論という言語行為に関する 対照研究	趙華敏(190)

第二部 日本語文法

- 诗歌的通灵者 韩玉萍(219)
 日汉第二人称的使用异同 侯仁锋(232)
 比喻表現から見た中国語と日本語との特質 劉振泉(242)
 日中敬語表現形式の対照に関する試み 盧万才(262)
 現代日本語の中の四字熟語 村木新次郎(284)
 重新认识中日两国语言中的“同形词”问题
 ——谈一下方法和问题之所在 潘钧(299)
 日本語、英語、中国語のオノマトペについての
 比較研究 楊朝桂(317)
 中日両言語における形式動詞の対照研究 楊華(337)
 「場合」に見られた文法化について 徐昌華(356)

第三部 日本語教育

- 初級日本語教育と日本語の性差 近藤安月子(365)
 中学日语教学大纲五种词汇表的比较研究 刘粉丽(380)
 高等教育における日本語文章表現力 丸山千歌(390)
 中国からの子どもたちの日本語教育の
 現状と課題 大上忠幸(407)
 中国の義務教育段階の日本語シラバスについて ... 唐磊(423)
 マルチメディア教材を活用したストラテジー
 教育の試み 楊峻(444)

CONTENTS

Congratulation	SUN Zong Guang(1)
Preface	ISHIGAMI Yutaka(3)

Part I Consideration Expression

The consideration expression of Japanese seen from "TUMORI"	CHEN Shu Mei(3)
An attitude survey on using Verbs of Giving and Receiving in the case of Expressions of Request and Benefit	GUAN BingBing, YAMADA Kaori(13)
On <i>sasete</i> - <i>itadaku</i> and <i>o</i> ~ <i>suru</i> - from the viewpoint of expressions of the beneficiary	HIMENO Tomoko(32)
Japanese deontic modality by situation presentation	MAKIHARA Tsutomu(51)
Some Notes on Japanese Regardfull Expressions	MORIYA Michiyo(64)
Politeness of Request Expressions in the case of <i>mo ii</i>	ONO Masaki(78)
On <i>Vtemorattewa</i>	PENG Guang Lu(91)
A Study on Silence in Conversation	SHI Jun(117)
A Contrastive Study of Request Expression in Japanese and	

- Chinese YAMAOKA Masaki, LI QiNan(131)
 On Ambiguity ZHANG Wen Ying(161)
 The response of invitation in Japanese ZHANG Yan(169)
 Compared With Speech Acts of Refutation in Chinese and
 Japanese ZHAO Hua Min(190)

Part II Japanese Grammar

- Mercury of Poetic World HAN Yu Ping(219)
 Differences and Similarities in the Use of the Second Person in
 Japanese and Chinese HOU Ren Feng(232)
 Characteristics of Chinese and Japanese: A Study of Figures
 of Speech LIU Zhen Quan(242)
 Acontrastive study of Chinese and Japanese about honorific
 expression LU Wan Cai(262)
 Four – Chinese – Character Idioms in modern Japanese
 MURAKI Shinjiro(284)
 Reconsideration of DOUKEIGO Both in Chinese and Japanese
 ——Methods and the crux of the problem PAN Jun(299)
 Onomatopoeia comparison among Japanese, English and Chinese
 YANH Chao Gui(317)
 A contrastive Study of the formal Verbs in modern Chinese and
 modern Japanese YANG Hua(337)
 The grammaticalization reflected in “ba ai”
 XU Chang Hua(356)

Part III Japanese Language Teaching

Pedagogical Perspectives Gender – sensitive Features of the Japanese Language	KONDOH Atsuko(365)
Middle School Japanese Syllabus and Five Other Vocabulary Lists	LIU Fen Li(380)
Writing Class as a Preparation for Academic Theme Writing	MARUYAMA Chika(390)
Current Issues in Japanese Language Instruction for China – Born Children	OGAMI Tadayuki(407)
On Curriculum of Japanese Language for China's Compulsory Education Period	TANG Lei(423)
The experiment with multimedia teaching materials on listening strategy education	YANG Jun(444)

第一部 配慮表現

“つもり”から見た日本語の配慮表現

陳淑梅

要旨: 中国語話者の「…つもり」の誤用例を収集し、その実例を通して、配慮表現の立場から「…つもり」の使い方の問題点を分析する。また、「…つもり」と中国語の類似語「打算…」の關係に着眼し、両者の共通点と相違点を、実例に基づいて分析を行う。最後に日中辞典と中日辞典の“つもり”と“打算”の記述について考える。

キーワード: 誤用例 配慮表現 私的領域 “打算”

0. きっかけ

0. 1 「新編日語」の“つもり”の例文

中国で出版されている日本語教材では、比較的に早い段階から“つもり”を取り上げているものが多い。次は中国の大学日本語教育の現場でもっとも広く使われている教材「新編日語」からみつけた誤用例である。

例 1

李: 将来日本へ行きたいと思います。(将来我想去日本)

牧野: 日本へ行って何をするつもりですか?(去日本打算做什么?)

李: 日本の経済を勉強するつもりです。(打算学习日本经济)

牧野: 大学院に入るつもりですか?(打算进大学院吗?)

李: はい、ぜひ大学院に入りたいと思います。(很想上大学院)

牧野: どの大学に入るつもりですか?(打算上哪个大学呢?)